

令和元年第3回市議会定例会

市長提案理由

(令和元年8月26日提案)

提案理由の説明に先立ち、参議院議員通常選挙の投票用紙交付取り違えについて、御報告いたします。

期日前投票において選挙区と比例代表の投票用紙を取り間違えて交付したもので、このことにより、有権者の大切な権利を損なう結果となったことを厳粛に受け止め、深く反省するとともに、改めて、組織内のチェック体制の見直しと再発防止に向けた対策を講じ、信頼回復に努めます。

それでは、市政諸般の御報告と今議会に提出した諸議案の概要について御説明いたします。

最初に、新たな取組である「B E P P U×デジタルファースト」についてです。6月25日の定例記者会見において、「B E P P U×デジタルファースト」を宣言しました。

情報通信端末のモバイル化等により、急速に進展するデジタル化は、私たちの日常生活や行動に大きな変化を見せており、I C Tを始めとする様々な最先端技術は、これからの社会・経済や市民生活等全ての分野において、ますます広がり、浸透していくと考えます。

今年5月に成立した「デジタル手続法」は、行政のデジタル化に関する基本原則及び行政手続きのオンライン化のための必須事項を定めたものであり、さらなる人口減少や人手不足問題の解消のため、I C Tを始めとする最先端技術を本市の行政システムにいち早く取り入れ融合させる必要があります。

本市では、「市民サービス」、「行政運営」、「観光戦略」の3つの戦略を柱とし、行政業務の諸手続の簡素化により、市民サービスの向上や市民生活の効率化を図り、I C T等の恩恵を誰もが享受できるよう取り組んでまいります。

デジタルのちからを最大限活用し全国のトップモデルを目指します。

次に、別府市総合計画・総合戦略の策定についてです。

現行の別府市総合計画は、平成23年度を始期として10年間の計画となっていますが、令和2年度を始期とする基本構想8年、前期・後期基本計画を各々4年として策定します。

第2期総合戦略につきましては、今年度が最終年度となることから、国が閣議決定した基本方針に基づき、令和2年度を始期とする5年間の計画を策定します。

策定に当たっては、産官学金労言の関係者に加え、議会や市民並びに大学生の代表が参画する「別府市総合計画・総合戦略審議会」において、御議論、御検討いただくとともに、市民拡大版として市民参加の場を設け、広く御意見を伺い進めてまいります。

本市の総合戦略の基本方針は、現行の総合戦略をベースに、既に達成された事業や社会情勢にそぐわなくなった施策や取り組みを見直しつつ、現在進行している新図書館構想やブルーラグーン構想のほか、効果的な事業につきましては分析し、さらに磨きをかけるとともに、ツーリズムバレー構想、デジタルファーストや新たな政策につきましても御検討いただき、別府創生のさらなる進化の指針となる計画を策定します。

次に、ツーリズムバレー構想についてです。

ツーリズムバレー構想実現のため、「別府ツーリズムバレー構想推進協議会」を設置し、第1回協議会を明日27日に開催します。

協議会において、本市の特色や多様性を活かして、新たな「しごと」をつくり「ひと」を呼ぶ仕組みを構築するとともに、やる気のある人の着想の実現に向けた取組を支援することにより、本市の産業・経済の振興と定住促進の好循環を構築します。人材・企業・資金・情報が集まり、相互に交わることにより常にイノベーションを起こし続け、産業全体が振興することによる「儲かる別府」の実現を目指します。

次に、ラグビーワールドカップ2019に関する報告です。

いよいよ一生に一度と言われるラグビーワールドカップ2019日本大会が開幕します。

期間中の大分会場及び日本戦の試合開催日には、北浜公園に試合観戦エリアを、北浜通りを中心とした飲食街にはおもてなしとにぎわいのエリアを展開し、観戦客及び観光客をお迎えするとともに商店街や市民ボランティアの皆さんと一体となってラグビーワールドカップを盛り上げてまいります。

また、庁内に立ち上げた別府市推進本部で、市内の美化活動を始め、テロや自然災害など様々な状況を想定し、対応策を講じることにより、キャンプや観戦客等の受入に万全を期してまいります。

実相寺中央公園に設置した「ハイパフォーマンスジム別府」は、選手がベス

トコンディションで試合に臨めるよう高いレベルのトレーニング機器を揃えています。また、施設は段差の無いバリアフリー仕様としており、大会終了後は、キャンプ誘致のため整備した多目的グラウンドと併せて、健康づくりを目的とした一般の方から、競技力向上を目指すアスリートまで全ての市民が満足できる施設として利用していただくことができます。

また、8月25日に開幕した「世界柔道選手権東京大会」に向けて、チェコとスロバキアのナショナルチームが今回整備したジムや市民体育館で合同合宿を行いました。この合宿は、東京2020オリンピックのシミュレーションという意味合いで実施されたもので、本市が4年前から取り組んできた国際スポーツキャンプ誘致活動の成果が現れていると実感しています。

次に、別府市福祉サービス事業あり方検討委員会についてです。

急速に進む人口減少や高齢化などの社会情勢に対応し、福祉サービスの持続可能性を確保していくためには、これまでの福祉施策を整理し、支援ニーズに沿った効果的で効率的な福祉サービスを提供することが必要となります。

本市の福祉事業等につきましては、第4次別府市行政改革推進計画の事務事業の見直しに改革項目を掲げ取り組んでいるところですが、社会保障費の増加が見込まれ、財政負担はますます深刻化するものと想定される中、今年第1回市議会定例会で、「福祉」という名目のもと聖域化することは避け、福祉施策、民生費においても検査・検証を求めるよう要望されたところです。そのため、利用者の視点及び専門的知見に基づく外部有識者からの意見を求める「別府市福祉サービス事業あり方検討委員会」を設置しました。

福祉サービス事業のあり方について、委員会から御意見をいただいた上で、一定の方向性を導き出し、持続可能な福祉行政を推進したいと考えています。

最後に、別府競輪サマーナイトフェスティバルGⅡレースについてです。7月13日から15日までの3日間、別府競輪場において「サマーナイトフェスティバル」を開催しました。

DRAM・TAOによるオープニングアクトやビアフェスティバル、手筒花火、打ち上げ花火など盛り沢山のイベントを開催し、数多くのお客様に会場へいただいた結果、43億6,402万200円の売上を達成し、目標の41億円を大幅に上回る成果を挙げることができました。

競輪事業の収益は、各種福祉サービス事業等に還元され、市民福祉の充実に繋がっています。また、基幹産業である観光産業の推進などがもたらす効果は、直接あるいは間接的に市民生活に波及し、地域経済の活性化と市民生活向上の好循環を生み出します。

行政の政策・施策・事務事業は全て市民福祉とサービスの向上に資するものであり、「市民の幸福」のため「儲かる別府」への取り組みを推進してまいります。

続きまして、上程されました各議案の主なものについて、その概要を御説明いたします。

はじめに、一般会計補正予算ですが、今回補正する額は、9億1,000万円の増額で、補正後の予算額は512億1,300万円となります。

その主なものとして、総務費では、買物や通院など日常生活に必要な高齢者の移動手段を確保するため、市内の公共交通不便地域の実態を調査し、地域の実情に応じた交通手段の導入を検討するための経費を計上しています。

さらに公共交通については、大所・小坂地区を運行するバス路線が9月末をもって廃止され、早急な対応が必要なことから、乗合タクシーを運行する経費を計上し、地域住民の日常生活を支える移動手段の確保を図ります。

また「紙」から「電子」による業務処理に転換し、行政文書のペーパーレス化を図るため、情報機器購入及びペーパーレス会議システムを導入し、「BEP P U×デジタルファースト宣言」に沿って業務の効率化を進めてまいります。

民生費では、子ども・子育て支援法の改正により、3歳から5歳児並びに住民税非課税世帯の0歳から2歳児の幼稚園、保育所などの利用料が無償となる「幼児教育・保育の無償化」の10月開始に伴い、関係経費を計上しています。

70歳以上の高齢者の社会参加の促進に資するため、バス回数券購入費を助成する「ひとまもり・おでかけ支援事業」では、購入者数が増加したことにより、追加の経費を計上しています。

衛生費では、未給水地域における公衆衛生の向上と生活環境の改善を図る小規模給水施設の整備事業について、県の補助金が3年間に限定されたため、事業計画を見直し、後年度の計画を前倒しする経費を計上しています。

労働費では、人手不足が社会問題化する中、特に深刻な宿泊業における雇用

環境を改善するため、働き手の確保に向けた支援を行うとともに、従業員の離職防止などの人材確保対策、入国管理法の改正により拡大された外国人労働者の受入制度の周知及び活用を促すための経費を計上しています。

農林水産業費では、森林関連法令の改正により、新たに開始された森林管理制度の下、森林環境譲与税を活用して温室効果ガスの削減や災害防止の観点から森林資源の適切な管理を行うための経費を計上しています。

商工費では、国の地方創生移住支援事業の創設に併せて拡充された県の移住者居住支援事業を活用して、本市への移住と就業を促進するため、住居確保の費用に対する補助制度を新設する経費を計上しています。

また、10月からの消費税率の引き上げに伴い、消費に与える影響緩和と消費喚起のため、プレミアム付商品券発行に必要な経費を計上しています。

観光費では、来年度に第5回山の日記念全国大会が大分県で開催されることに伴い、大会実行委員会への負担金を計上しています。

教育費では、幼児教育・保育の無償化の対象とならない放課後児童クラブを利用する公立幼稚園児の保護者負担を軽減するための経費を計上しています。

また、11月から運営を開始する「ハイパフォーマンスジム別府」の経費を計上しています。

次に、特別会計では、前年度決算確定に伴う繰越金の追加あるいは減額を中心とした補正予算を計上しています。競輪事業特別会計においては、一般会計繰出金を追加計上しています。今回の補正額は、4億4,759万1千円の増額で、補正後の特別会計予算の総額は540億2,058万8千円となります。

以上が、今議会における予算関係議案の概要であります。

次に予算外の議案について、御説明申し上げます。

予算外の議案については、「条例関係10件」、「その他14件」の計24件を提出しています。

議第77号「別府市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法の一部改正により定められた子育てのための施設等利用給付において、個人番号を利用した情報連携を行うため、条例を改正しようとするものです。

議第78号「別府市森林環境譲与税基金条例の制定について」は、森林の整

備等に要する費用に充てるため、別府市森林環境譲与税基金を設置することに伴い、条例を制定しようとするものです。

議第79号「別府市手数料条例の一部改正について」は、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の一部改正に伴い、建築物エネルギー消費性能向上計画に他の建築物を記載した場合の審査手数料を定める等のため、条例を改正しようとするものです。

議第80号「別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法施行令の一部改正により満3歳以上教育・保育給付認定子どもが特定教育・保育を受けた場合の利用者負担額が無料とされたこと等に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第81号「別府市市民会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、市民ギャラリーベっぷ部分の施設解体に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第82号「別府市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法に基づき条例を定めるに当たって従うべき基準等を定める内閣府令が改正されたことに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第83号「別府市子ども・子育て支援法に基づく過料を定める条例の一部改正について」は、子ども・子育て支援法の一部改正により定められた子育てのための施設等利用給付に関し、同法の規定に基づき過料を定めるため、条例を改正しようとするものです。

議第84号「別府市印鑑条例の一部改正について」は、住民基本台帳法施行令の一部改正により、住民票に旧氏の記載を求めることができるとされたこと等に伴い、条例を改正しようとするものです。

議第85号「ハイパフォーマンスジム別府の設置及び管理に関する条例の制定について」は、ハイパフォーマンスジム別府を設置することに伴い、条例を制定しようとするものです。

議第86号「別府市営店舗の設置及び管理に関する条例の一部改正について」は、市営店舗使用料を改定することに伴い、条例を改正しようとするものです。

議第87号「旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて」

は、大分県が実施する県道別府一の宮線（南立石）災害防除事業による用地買収に伴い、対象土地の旧慣を廃止することについて、地方自治法第238条の6第1項の規定により議会の議決を求めるものです。

議第88号、議第89号及び議第90号の「工事請負契約の締結について」は、別府西中学校管理教室棟外の新築工事、新築電気設備工事及び新築機械設備工事の請負契約の締結について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を求めるものです。

議第91号「市長専決処分について」は、地方自治法第179条第1項の規定に基づき旧別府市美術館解体工事における建設工事請負変更契約を市長において専決処分しましたので、同条第3項の規定により議会に報告し、その承認を求めるものです。

議第92号「平成30年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について」から議第100号「平成30年度別府市水道事業会計決算の認定について」までの9件は、地方自治法第233条第3項及び地方公営企業法第30条第4項の規定に基づき、平成30年度別府市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算並びに平成30年度別府市水道事業会計決算を監査委員の意見を付けて議会の認定に付すものです。

以上で各議案の説明を終わります。

何とぞ慎重審議の上、よろしくお願い申し上げます。